

事故撲滅を呼びかけ

渡辺組が交通安全街頭啓発

地元の農産物も配布し



【網走発】(株)渡辺組（遠軽、渡辺博行社長）は九月三十日、国道二四二号沿いの湧別支社前で交通安全街頭啓発を実施した。交通安全旗や横断幕を掲げるとともに、道行くドライバーに交通安全グッズを配布。地域からの交通事故撲滅を呼びかけた。

同社は、夏と秋の全国交通安全運動に合わせて、平成十九年から街頭啓発に取り組んでいる。同社と(株)渡辺興業（高橋省哉社長）との共催。ことしで十年目、二十回目を迎えた今回の活動には、両社の役員や作業員ら四十人が参加した。冒頭、渡辺勉副社長がいさづ。仕事やそれ以外でも、交通事故の危険性を常に意識し、「加害者・被害者にならないよう、日ごろから十分に気を付けてほしい」と呼びかけた。

続いて、応援に駆け付けた遠軽警察署の井澤清司署長は、交通事故発生状況や交通安全運動の重点を説明し、「交通事故で亡くなる人を一人も出さないという決意で、これからもやっていただきたい」と交通事故の根絶に向け協力を求めた。

活動に当たっては、遠軽署の警察官が通行車両を路肩に誘導。渡辺副社長や井澤署長らが、同社で作成したリーフレット、地元産のタマネギとジャガイモを詰め合わせた交通安全グッズ百セットを配布。「安全運転に協力をお願いします」などと声をかけ、交通事故の撲滅を訴えた。写真。

このほか、参加者全員が国道沿いに整列。シートベルト着用の徹底を訴える横断幕や、飲酒運転撲滅、高齢者と子どもを事故から守るなどと書かれたのぼりを手に、安全運転を啓発した。

242号沿いで交通 安全街頭啓発

渡辺組

【北見】渡辺組（本社、遠軽、渡辺博行社長）と渡辺興業（同・湧別、高橋省哉社長）は9月30日、湧別支社前の国道242号沿いで交通安全の街頭啓発をし、道行くドライバーに啓発グッズを手渡して安全運転を求めた。写真

2007年から毎年、春と秋の全国交通安全運動に呼応して実施してい

る。参加した約40人に渡辺組の渡辺勉副社長は「常に事故の危険性はある。加害者でも被害者でも困るのは家族。運転の基本を守るのが大切」と、事故防止への注意を呼び掛けた。

飲酒運転撲滅やシートベルト着用徹底と書かれた安全旗を持って整列し、遠軽警察署の協力で行った。パンフレットなどの啓発グッズに地元産タマネギなどを入れた袋を手渡した。

